

国語科年間評価計画（第二学年）

4. 第2学年及び第3学年の学年目標（「中学校学習指導要領」より）

- (1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- (2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。

期	月	指導事項				学習材	学習目標	時数	学習活動	評価規準	主な評価資料・評価方法
		関心・意欲	A 話す・聞く	B 書く	C 読む						
前期	4					草に寝て……	表現を味わいながら朗読する。	1 1 詩を読み、五感を通して情景を想像する。（見えるもの、聞こえるもの、香りなど） 2 この詩に描かれている心情を考えながら、朗読を工夫する。	・文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方（朗読）に役立てている。	《通年》 観察記録法 発表による評価 ノート・プリントによる評価 自己評価・相互評価 テスト	
						短歌を味わう	言葉の意味を想像豊かにとらえ、表現を味わう。	2 1 「学習のポイント」をもとに、短歌を学習していくうえで大切なことを押さえる。 2 「学習の課題」に取り組む。	・文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方（色紙や画用紙にまとめた感想）に役立てている。		
						句を付けて遊ぼう	五音・七音のリズムに親しみ、付け句をする。	1 1 「前句付け」「連句」のやり方を理解し、教科書の例句に付け句や脇句を付けてみる。 2 5～6人のグループを作り、連句遊びをする。	・必要な材料を集め、それをもとに自分のものの見方や考え方を深めている。		
						方言と共通語	共通語と方言の果たす役割について理解する。	1 1 学習材を読み、方言のよさや共通語が生まれた理由について考える。 2 方言と共通語が持つそれぞれの特徴について考える。 3 方言と共通語のそれぞれに対する思いを話し合う。	・共通語と方言の果たす役割について理解している。		
						用言の活用〔読む人？読みます 読まない〕	用言の種類やはたらき、活用について理解する。	2 1 学習材を読み、身近な用言を例に、後に続く語や文中のはたらきに応じて活用することを知る。 2 P190「用言の活用」を読み、用言の定義とその種類（動詞・形容詞・形容動詞）を理解する。 3 P190～192の表をもとに、用言の活用の種類・活用形について理解する。 4 P193の練習問題に取り組み、1～3で学習したことを確認する。	・用言の種類やはたらき、活用について理解し、日常の言語生活でその知識を生かしている。		
	5					小さな労働者	情報を再構成して活用する。	4 1 学習材を読み、「学習の課題a」に取り組む。 2 情 1をもとに「学習の課題b」の中から一つを選んで学習する。	・集めた情報を自分の表現に役立てている。		

				聞き上手になろう・吟味して聞く	問題意識を持って相手の話を聞く力を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の導入部分を読み、「批判的に聞く」ことの意味をとらえる。 2 「相手の話を要約する」「自分の意見を話す」を読み、それぞれの場合のポイントを押さえたうえで「課題1・2」に取り組む。 3 「『聞き取り座談会』をする」を読み、学習の進め方をとらえたうえで、「課題3」に取り組む。 4 「聞くことの自己評価」を行い、学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の中心の部分と付加的な部分との関係に注意して、話したり聞き取ったりしている。
6				調べて発信しよう	目的に応じて的確な方法で調べ、調べたことを整理・分析し、報告の文章を書く。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の導入部分を読み、メディアを活用して情報を集め、調査し、分析したことを発信する意義をとらえる。 2 「自分のテーマを明確にする」を読み、調査をする際にテーマを明確にするための大切さを確認する。 3 「調査する」を読み、「サンプル抽出」「インターネット」「アンケート」各調査の特徴と方法を確認する。 4 「分析する」「まとめる」「発信する」を読み、調査によって収集した情報の分析・まとめ・発信をする際の注意点を確認する。 5 情 学習した調査の仕方から一つを選び、「課題」の例を参考にして、興味ある課題について調査・発信をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の立場、伝えたい事実や事柄を明確にしている。
				形の似た漢字 1	部首の違いに着目して、形の似ている漢字の使い分けを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「部首だけが違う漢字」を読み、漢字の構成と発音・意味とのかかわりをとらえる。 の問題に取り組み、学習内容を確認する。 2 「形が似た部首」を読み、形が似た部首の違いを意味からとらえる。 の問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形の似た漢字に注意し、読んでいる。
				類義語・対義語	類義語と対義語の意味や使い分けについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「課題 ア～ウ」に取り組み、「解説」を参考にして、類義語の使い分けについて理解する。 2 「課題 エ・オ」に取り組み、「解説」を参考にして、対義語の意味や役割について理解する。 3 「研究」に取り組み、1・2で学習したことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語と対義語の意味や用法に注意し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
				父のようにはなりたくない(読書)	読書の幅を広げ、人間、社会、自然について視野を広げる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、印象に残った会話とその理由を発表し合う。 3 2 吾郎とサトシの人物像を想像し、自分や家族との共通点・相違点などを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つようになる。
7				神奈川沖浪裏	読書の幅を広げ、人間、社会、自然について視野を広げる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「神奈川沖浪裏」の浮世絵と、学習材本文の描写とを対応させて、映像を文章で説明する方法や工夫について理解する。 3 2 情 1で学んだことを生かして、身近な絵や写真などを、実際に文章で説明してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、説明や描写などの表現の仕方や、文体など文章の特徴に注意して読んでいる。
				形の似た漢字 2	部首が同じで形の似ている漢字・一画の違いに注意したい漢字の使い分けを理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「部首が同じで形も似ている漢字」を読み、その違いと使い分けを学ぶ。 の問題に取り組み、学習内容を確認する。 2 「一画の違い」を読み、その違いと使い分けをとらえる。 の問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形の似た漢字に注意して、読んだり書いたりしている。
				名詞 [手を流れる冷たいもの]	名詞の特徴や種類について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、名詞のはたらきについて考える。 2 P194「名詞」を読み、名詞の定義・種類・成り立ちについて理解する。 3 P195「練習問題」に取り組み、1・2で学習した内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞の定義・種類・成り立ちについて理解している。
				書写 行書を書く	字形に留意しながら行書を試みる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 手本から行書独特の省略、筆勢を見て取る。 5 2 字形、配列、全体の配置を意識して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形に留意し、字の配列、全体の配置を意識して書いている。

9		徒然草	古人のものの見方や考え方をとらえる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代語訳と対照させながら古文を音読し、「学習の課題 a」に取り組む。 2 「学習の課題 b」に取り組み、読みを深める。 3 P74の解説文を読み、「徒然草」の成り立ちや兼好法師について知る。 4 「学習のポイント」を読んで、古文の特徴的表現（係り結び・反語）について知る。 	・説明や描写の仕方や、文体など文章の特徴に注意して読んでいる。
		平家物語 那須与一	古人のものの見方や考え方をとらえる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「那須与一」の、場面の状況の要約部分と現代語訳を読み、出来事のあらましをとらえる。 2 「那須与一」の古文の部分を繰り返し音読し、「学習の課題 a」に取り組む。 3 古文と現代語訳を対照して、「学習の課題 b」に取り組み、場面の状況や与一の心情について考えたことを話し合う。 4 P80以降の解説部分を読み、「弓流」「祇園精舎」を現代語訳と対照しながら暗唱することを通して、平家物語に描かれている人生観について知る。 	・説明や描写の仕方や、文体など文章の特徴に注意して読んでいる。
		論語	古人のものの見方や考え方をとらえる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学習の課題 a」に取り組み、繰り返し朗読して、漢文のリズムに慣れる。 2 書き下し文と現代語訳を対照して、「学習の課題 b」に取り組む。 	・説明や描写の仕方や文体など、文章の特徴に注意して読んでいる。
		漢字の意味	意味が似ていたり反対であったりする漢字の使い分けや、複数の意味・思いがけない意味を持つ漢字について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「似た意味の漢字・反対の意味の漢字」を読み、類義・対義の意味を持つ漢字について理解する。の問題に取り組む、学習内容を確認する。 2 「複数の意味・思いがけない意味」を読み、意味の違いと使い分けについて理解する。の問題に取り組む、学習内容を確認する。 	・類義、対義の意味を持つ漢字や複数の意味を持つ漢字に注意して、読んでいる。
10		語の組み立て	和語・漢語の組み立ての種類を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「解説」を参考にしながら、「課題」に取り組む、種類の語の組み立てについて理解する。 2 「研究」に取り組む、学習した内容を確認する。 	・語の構成の種類を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。
		落葉松	朗読を通して文語特有の言葉の調べを味わう。	<ol style="list-style-type: none"> 1 音読を通して、文語特有の語句の使い方やリズムを確かめる。 2 描かれている情景を思い浮かべ、それにふさわしい朗読や群読を工夫する。 	・文語特有の語句の使い方について理解し、自分の表現（朗読や群読）に役立てている。
		「喜び」がいっぱい	喜びを表すさまざまな表現にふれ、自分の表現に役立てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の中から気に入った表現をいくつか選び、「喜び」の内容、程度、表現の仕方の特徴などについて自分の考えをまとめて発表する。 *学習材の中から似ている表現や対照的な表現を選び、その共通点や相違点について発表し合ってもよい。 2 1の学習内容を参考に、自分の好きな「喜び」の表現を今まで読んだ本などの中から紹介したり、自分なりの喜びの表現を一文にまとめたりして、発表する。 	・集めた情報を自分の表現に役立てている。
後期		考えるイルカ	論理の展開の仕方をとらえて吟味する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 情 どのような実験を行ったかに注目しながら学習材を読んで、「学習の課題 a」に取り組む。 2 「学習のポイント」を参考に、論理を吟味するときの着目点を確認する。 3 「学習の課題 b」に取り組む。 4 情 1のフローチャートに、「学習の課題 b」で取り組んだ内容を加筆し、筆者の論理を吟味する。 	・文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を理解している。

11				効果的な話し方をしよう	相手に効果的に伝えるための話し方を学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の導入部分を読み、プレゼンテーションの目的や、効果的なプレゼンテーションをするためのポイントを知る。 2 学習材を読み、プレゼンテーションを行うための学習の流れを押さえる。 3 2の学習を活用して、「課題」に取り組む。 4 「話すことの自己評価」を行い、学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の意図に応じ、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりしている。
				意見を書こう	相手の意見を正確に理解したうえで、構成を工夫して自分の意見を書く。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の導入部分を読み、相手の意見に反論する文章を書くときのあるべき姿勢について理解する。 2 「反論の文章を書くための技術」を読み、反論の文章を書くためのポイントや手順を押さえる。 3 「反論の文章を書く練習」を読み、Bさんの意見に対して反論する練習をする。 4 情 今までの学習を生かして、「課題」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見のもととなる根拠を明らかにし、文章の内容が相手に効果的に伝わるように論理の展開を工夫している。 ・自分の書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章を書いている。
12				同訓異字	同訓異字の使い分けに注意する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「用言の同訓異字」「体言の同訓異字」を読み、代表的な同訓異字について読み方や意味の違いを知る。 2 辞書や資料集を活用し、の問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同訓異字の使い分けに注意して、漢字を書いたり読んだりしている。
				副詞・連体詞 [のんびり暮らそう、この人生]	副詞・連体詞の特徴や種類について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 冒頭の例文をもとに、副詞と、連用修飾するほかの語との違いをとらえる。 2 1と同様に、連体詞と、連体修飾するほかの語との違いをとらえる。 3 P196「副詞・連体詞」を読み、副詞・連体詞の定義・種類(分類)・はたらきについて理解する。 4 P197の練習問題に取り組み、1～3で学習した内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・副詞や連体詞の定義・種類(分類)・はたらきについて理解している。
				書写 書き初めの練習	字形に留意しながら行書を試みる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 手本から行書独特の省略、筆勢を見て取る。 2 字形、配列、全体の配置を意識して書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・字形に留意し、字の配列、全体の配置を意識して書いている。
1				走れメロス	文学的な文章の特徴をとらえ、読み味わう。	<ol style="list-style-type: none"> 1 場面の転換に注意しながら全文を読み、「学習の課題a」の最初の課題に取り組む。 2 「学習の課題a」の二番目の課題に取り組むことを通して、表現の特徴をとらえる。 3 「学習のポイント」を読み、小説の表現を味わうために着目する点を確認する。 4 3の内容を活用しながら、「学習の課題b」のどちらかに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の考えを持つようになる。
				三分間スピーチをしよう	新聞記事を読み、自分の意見を話す。	<ol style="list-style-type: none"> 1 「記事から話す内容を考えよう」「スピーチメモを作ろう」を読み、今社会で問題になっていることなどに対してスピーチで意見を述べる方法やポイントを理解する。 2 1で学習した内容を生かして、新聞で取り上げられている出来事や事件の中から関心を持った記事を選び、実際にスピーチするメモを作成する。 3 「三分間ニューススピーチをしよう」を読み、スピーチ練習のポイントを押さえたうえで、二人一組のスピーチ練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広い範囲から話題をとらえて話している。
				ジャンルを変えて書きかえよう	文章のジャンルを変えて書きかえをする。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、文章を書きかえる目的や方法を確認する。 2 今までの国語科学習のまとめとして、教科書の中の作品から自分の書きかえたい作品を選び、短い書きかえ作品を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の形態に応じて、書き出しや中心部分の展開など適切な構成を工夫している。
				同音異義語	同音異義語の意味や使い分けについて理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、資料集などを活用しながらさまざまなパターンの同音異義語があることを知る。 2 辞書や資料集などを活用し、の問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同音異義語の意味や用法などに注意している。

2			わたしの国語学習（・カタカナ抜きで話せませう・「社会調査」のうそ・わたしが一番きれいだったとき・僕の防空壕）	学習の内容や方法を工夫して、言葉の学びを高める。	3	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学習の流れ」を読み、学習のあらましをつかむ。 2 P151～168の四つの学習材をひととおり読んで、興味を持った点や学習したい事柄を発表し合う。 3 授業者と相談しながら学習材を選択し、学習計画を立てる。 4 計画に従って学習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら立てた計画に沿って学習できている。 ・自分の言葉で学習の成果を発表している。
			立場を決めて話し合う	立場の違いを明確にして話し合うことで、考えを深めていく。	5	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の導入部分を読み、意見の対立を通して問題の理解を深めていく方法と、ここでの学習内容（「討論ゲーム」）について確認する。 2 「『討論ゲーム』の準備」を読み、「討論ゲーム」の進め方と事前の準備の方法を確認する。 3 「討論ゲーム」を読み、「討論ゲーム」を実際に行う際の留意点を確認する。 4 「講評・自由討論」を読み、講評の観点や「討論ゲーム」から発展して大きな一致点を見出すための自由討論の方法を確認する。 5 「課題」の論題例やP224「話すこと・書くこと 題材（材料）例」を参考に論題を選び、「討論ゲーム」に取り組む。 6 「話し合うことの自己評価」を行い、学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの共通点や相違点などを聞き分け、自分の考えを広めたり深めたりしている。
3			エッセーを書こう	絵や詩などに触発されて感じたことを、豊かな発想で文章に表現する。	8	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材の導入部分を読み、絵や詩から触発された思いをエッセーで表現することの意義を確認する。 2 「エッセーを書こう」を読み、豊かに発想するための工夫や、自分の思いをエッセーにまとめるための留意点を確認する。 3 「互いに読み合おう」を読み、互いに読み合うことの意義について確認する。 4 「課題」の絵・詩・写真などを題材としてエッセーを書く。 5 できた文章を文集にまとめて回覧し、構成や表現の仕方などで参考になったことなどを付せん紙などにまとめて交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの文章を読み合い、構成や材料の活用の仕方などから相互に検討し、自分の表現に役立てている。
			助詞[猿 木から落ちる]	助詞のはたらきに注意する。	2	<ol style="list-style-type: none"> 1 「猿 木から…」の に入る助詞によって表される微妙な意味の違いを確認する。 2 P198「助詞」を読み、助詞の四つの種類とそのはたらきの違いについて理解する。 3 P199の練習問題に取り組み、学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞のはたらきに注意している。